

令和元年度 第1回 市川市博物館協議会 会議録

日 時：令和元年8月7日（水）午後2時から

場 所：市立市川歴史博物館 2階 講堂

出席者：浅川 潤一、石井 正、石井 秀和、片岡 玲子、桜庭 秀喜、白井 久美子、
清田 博之、菅原 繁、田邊 由美子、福岡 直子、福士 融、松田 陽
松丸 陽輔（五十音順）

杉山元明考古博物館館長、加藤久雄自然博物館館長

考古博物館：笠川賢司主任、近藤孝子主任、山路直充学芸員、領塚正浩学芸員

歴史博物館：小野英夫学芸員

自然博物館：金子謙一学芸員

傍聴者：なし

事務局 ： これより博物館協議会委員に選任されました方々へ、委嘱状を交付いたします

{考古博物館館長より、各委員へ辞令交付}

館 長 ： 本日はお忙しい中、お集まりいただき誠にありがとうございます。博物館運営協議会委員のみなさまにおかれましては、それぞれの専門分野の立場で、博物館運営にお力添えをいただいておりますこと、あらためまして感謝を申し上げます。

博物館運営協議会の委員の皆さまにおかれましては、博物館運営に関してそれぞれ専門的な立場で忌憚のないご意見、ご助言を賜りたくお願い申しあげまして、挨拶とさせていただきます。本日はどうぞよろしく申し上げます。

{各委員及び事務局挨拶}

杉山館長 ： 委員の任期が改選されましたので、市川市立博物館設置及び管理に関する条例第11条の規定により、委員の皆さまの中から新に「委員長」及び「副委員長」を選出させていただく必要がございます。

つきましては、委員長を選出するまでの間、私が、議長を務めるということによろしいでしょうか。

- 各委員 : 了承
- 杉山館長 : 今期の委員長を決めていきたいと思います。どなたか立候補される方または、推薦される方はいらっしゃいますか。
- 福岡委員 : 白井委員に委員長をお願いしたいと思います。
- 各委員 : 異議なし
- 杉山館長 : 白井委員に今期の委員長をお願いできればと思います。
- 白井委員長 : 不慣れな部分も多いですが、これからよろしくお願いします。
では、さっそくですが、副委員長の選出をしたいと思います。委員の皆様からご意見等ありましたらお願いします。
- 菅原委員 : 櫻庭委員を推薦いたします。
- 白井委員長 : 皆さまいかがでしょうか。異議がないようですので櫻庭委員をお願いしたいと思います。
- 櫻庭副委員 : 任期いっぱい頑張りたいと思います。よろしくお願いします。
- 事務局 : それでは、市川市立博物館の設置及び管理に関する条例第12条第1項の規定により、協議会の議長は委員長が行うこととされております。これより先、白井委員長をお願いしたいと思います。よろしくお願いします。
- 白井委員長 : では、これより令和元年度第1回市川市博物館協議会を開会いたします。
なお、開会にあたりまして、本日は13名の委員の方々に出席いただいておりますので、市川市立博物館の設置及び管理に関する条例第12条第2項の会議規定、委員定数の過半数以上の出席という条件を満たしておりますので、この協議会は成立したことを確認しました。
本日は、報告事項1件、協議事項1件、企画展の見学となっております。
また最後に、次回の協議会日程について確認いたします。
では、事務局より報告事項からお願いします。
- 事務局 : 考古・歴史・自然博物館の学芸員から30年度の実施状況及び自己評価について報告させていただきます。
{考古・歴史・自然博物館の学芸員が30年度実施状況を説明した。}
次に、平成30年度実施事業に関する3館の事業種別の総合評価に関する自己評価について報告させていただきます。資料「市川市立博物館 平成30年度実施事業に関する外部評価」をご覧ください。この資料にある自己評価は、各館の担当学芸員が事業種別ごとに自己評価したものをまとめたものです。
まず、収集・保管及び調査研究事業の実施における主な成果及び課題についてです。成果としましては、市史編さん事業と連動した形で関東口

ム層や更新世の動物化石の調査を進め見込み通りの成果があがりました。また、借用資料整理や寄贈図書の整理登録を年間通して実施することができたことなどです。

課題としましては、収蔵資料や古写真のデータベース化、スライドフィルムデジタル化が進んでいないことなどが挙げられます。

それぞれ3館の自己評価は、考古、歴史博がB、自然博がCですが、総合評価としては、Bとしました。

次に、展示事業の実施における主な成果及び課題についてです。成果としましては、企画展の実施をはじめ、ホール小展示や速報展においてテーマを決めて展示をおこなったことや、学校利用による入館者数の増加などにより3館とも来館者が増加し、関心も高く好評であったことなどです。

課題としましては、考古博物館と歴史博物館での常設展示において、今後、計画的に展示替えを進めていくことなどが挙げられます。

総合評価としては、3館ともBですので、Bとしました。

次に、市民向けの教育普及事業の実施における主な成果及び課題についてです。成果としましては、博物館や公民館の講座、講演会、季節の行事体験、自然観察会等ほぼ見込み通りの結果を得ることができました。

課題としましては、参加者をより増やせる講演会をめざして内容を検討していくこと、また、縄文体験フェスティバルについては、出店団体の高齢化等で例年どおりの実施が難しくなっており、内容を検討する必要があります。

総合評価としては、3館ともBですので、Bとしました。

次に、学校関連の教育普及事業の実施における主な成果及び課題についてです。成果としましては、各館とも小学生向け体験学習は来館、出前を含め多くの学校が利用し、大変好評でした。

課題としましては、小学校の社会科において縄文体験学習の次年度からの受け入れが、年度当初の4月～5月から6月～7月にずれることから、体験メニューを一部変更しなければならず、学校と協議して対応する必要があります。

総合評価としては、3館ともBですので、Bとしました。

次に、地域連携の教育普及事業の実施における主な成果及び課題についてです。成果としましては、公民館での講座や博物館友の会事業への協力を実

施し好評を得たこと、さらに、市民団体等からの学芸員の講師依頼に適切に対応できたことなどです。

課題としましては、公民館講座への講師派遣において公民館側と内容について検討するなどが挙げられます。

総合評価としては、3館ともBですので、Bとしました。

最後に、博物館運営事業の実施における主な成果及び課題についてです。成果としましては、「考古・歴史博物館だより」や「自然博物館だより」、行事案内の発行により事業内容をアピールしたことなどです。

課題としましては、建物自体の老朽化が進んでおり、施設維持に必要な経費を要求していくためには、さらに博物館の事業や社会貢献についての必要性を市民や市職員へ積極的にアピールしていかなければならないことなどが挙げられます。

総合評価としては、3館ともBでしたので、Bとしました。

白井委員長： ご質問・ご意見があればお願いします。

石山委員： 歴史博物館の市内学校所蔵資料調査について横浜市では積極的に進めているので、歴史博物館でも積極的に対応してほしい。

事務局： 歴史博物館では、市内小学校所蔵資料調査として、郷土資料室のある学校の資料調査及び展示室等の補助を行っています。この件に関しては、教員の異動等などによる資料室の維持の困難さや、学校とのかねあいの中で博物館職員がどこまで取り組めるかなど課題も多いですが、年1・2校ぐらゐの調査を継続したいと思っています。

福岡委員： 歴史博物館の市内学校所蔵資料調査を充実して行ってほしい。

松田委員： 各館の収蔵資料デジタル化の遅れた理由を教えてください。

事務局： 考古博物館は、デジタル化は進んでいない。歴史博物館は、資料の目録化を進めています。自然博物館では、デジタル化が進んでいません。

松田委員： 各博物館で所蔵している資料をデータベース化すべきである。

事務局 : 各博物館では、体験学習等事業が多く、資料の準備作業を含め、まとまった時間が取れない状況ですが、今後、データベース化を進めていきます。

白井委員長 : 協議委員としてはこのような意見となりましたので、事務局の方で取りまとめていただければと思います。

白井委員長 : 領塚学芸員による企画展「大地からのメッセージ」展示解説の説明をお願いいたします。

{領塚学芸員により説明}

事務局 : それでは、事務局から連絡事項といたしまして、次回の協議会についてお知らせします。

・次回の協議会の日程につきましては、令和2年3月ごろを予定しております。

白井委員長 : 本日の日程は、全て終了となります。
長い時間、ありがとうございました。

以上